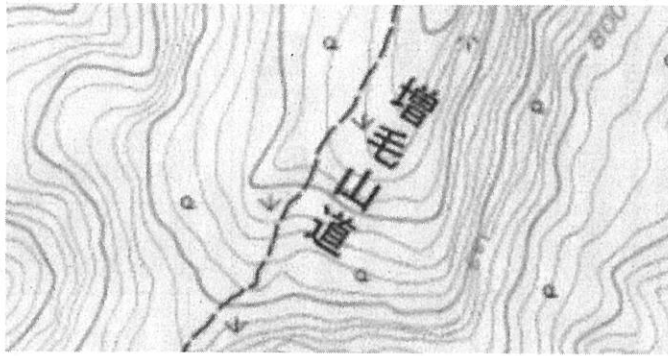


国土地理院がインターネット上で公開している電子地図「地理院地図」上で、幕末に開かれた増毛山道(増毛町別対一石狩市浜益区幌、本線27キロ、支線5キロ)の名が2日までに新規に記載された。本線と支線上に計4



増毛山道(点線記号)の経路脇に緑色の活字で「増毛山道」の名が記載された「地理院地図」

「増毛山道」の名 電子地図に

国土地理院 「歴史的経緯が明確」

カ所、「増毛山道」の活字が緑色の注記として地図上に登場した。

該当する4枚分の紙地図には、次回の改訂時に反映される。

国土地理院北海道地方測量部によると、道内の山岳古道では様似山道などに続いて4カ所目の名称記載だが、全国的には山岳古道自体が少なく、名称記載は珍しい。「増毛山道の会と一緒に行った登山道調査を経て、歴史的な経緯や経路が明確であることが注記記載につながった」(西城祐輝次長)としている。

同山道は幕末から大正時代にかけて、交易・生活道路として使われたが、国道231号の整備に伴い、戦後に廃道化。地元有志による増毛山道の会やボランティアが復元作業を続け、2016年に全線が復元、17年に山道が「登山道」を示す点線記号として電子地図に記載されていたが、名称記載には至らなかった。(黒川伸一)